

全国協議会 ニュース

2011年8月1日発行 第230号

発行所 特定非営利活動法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会 〒160-0005 東京都新宿区愛住町23-1 Woody21-9階 TEL.(03)3356-8217 FAX.(03)3356-8637 発行責任者:中野勝博 http://www.marrow.or.jp/ E-mail:office@marrow.or.jp

郵便振替口座 00150-4-15754 銀行口座 三井住友銀行 新宿通支店 普通 5666655

「患者負担金の支払いに関する連帯保証人」問題 さらためて質問書を提出へ

6月15日発行のマンスリーJMDPで突然発表された「連帯保証人の記載を患者登録時に求める」制度の新設に関して、全国協議会では、「この制度は患者登録に際しての障害になり、移植による救命治療を断念せざるを得ない状況が発生しかねない」と危惧して、背景と真意を糾す内容の質問書を6月26日付で財団宛に提出し、合わせて厚労省に対しては、本制度導入を見合わせるように財団に指導して欲しいという趣旨の要望書を提出致しました。この質問書に対する回答が、7月7日に財団から文書で寄せられました。現時点での結論として制度導入は延期するとのことでしたが、患者負担金の未収金が主因であるとする説明には会計処理上にも不明な点が多く、全国協議会としては、再度の質問書を提出する予定です。

全協第2713号 2011年6月26日

財団法人 骨髄移植推進財団 理事長 正岡 徹 様

特定非営利活動法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会 理事長 中野 勝博

「患者負担金の支払いに関する連帯保証人」について (質問)

貴職におかれましては、日頃より骨髄バンク事業の推進にご尽力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、貴財団事務局発行のMONTHLY JMDP 6月15日号によると、本年7月から、財団に患者登録をする際に連帯保証人を明記していただくよう変更するとの記載がありました。その理由として、「まれに患者さんがお亡くなりになったケース等で、再度の請求を行ってもご家族から負担金をお支払いいただけないケースがあります。」と説明されています。しかしながら、患者負担金の減免制度がなかったころには、確かに患者負担金の未収が長年累積し、最終的に損金として償却せざるを得ない場合もあったと承知しておりますが、減免対象になる患者さんへ適切な案内が出来るようになってからはそのようなケースは稀であると聞いております。

私たちがいたしましては、連帯保証人をお願いできる近親者もしくは関係者がいない患者さんが、患者登録を諦め、結果として造血細胞移植を選択できずに積極的治療そのものを断念するようないかなる事態が生じることには、患者負担金の未収が長年累積し、最終的に損金として償却せざるを得ない場合もあったと承知しておりますが、減免対象になる患者さんへ適切な案内が出来るようになってからはそのようなケースは稀であると聞いております。

私たちがいたしましては、連帯保証人をお願いできる近親者もしくは関係者がいない患者さんが、患者登録を諦め、結果として造血細胞移植を選択できずに積極的治療そのものを断念するようないかなる事態が生じることには、患者負担金の未収が長年累積し、最終的に損金として償却せざるを得ない場合もあったと承知しておりますが、減免対象になる患者さんへ適切な案内が出来るようになってからはそのようなケースは稀であると聞いております。

つきましては、患者負担金の支払いに関する連帯保証人について、下記のとおりに質問いたしますので、ご多忙の折、大変恐縮ですが7月1日(金)までにご回答下さるようお願い申し上げます。

記

- 現在までに患者負担金が未収になっている件数と金額はどれほどでしょうか。また、直近の3年間で患者負担金請求総額に対して未収金となっている割合を示してください。
- 貴財団としては、7月以降は連帯保証人を立てられない患者からの患者登録は、一切受け付けなくなるのでしょうか。その場合、連帯保証人がいない患者の救済についてはどのようにお考えでしょうか。

全協第2714号 2011年6月26日

厚生労働大臣 細川 律夫 様

特定非営利活動法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会 理事長 中野 勝博

「患者負担金の支払いに関する連帯保証人」について (要望)

拝啓 貴職におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は、骨髄バンクを支援する私たちボランティアの活動にご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

私ども「特定非営利活動法人全国骨髄バンク推進連絡協議会」は、1990年の発足以来、より多くの患者さんのいのちを救うことを目的としてさまざまな事業を行っておりますが、その一環として、白血病などの患者さんのための無料電話相談窓口(白血球フリーダイヤル)の設置や、移植費用を助成し、経済面で支援する基金(佐藤さち子患者支援基金)の運用・給付などの支援活動に取り組んでおります。

さて、骨髄移植推進財団事務局発行のMONTHLY JMDP 6月15日号に、本年7月から、財団に患者登録をする際に連帯保証人を明記していただくよう変更するとの記載がありました。その理由として、「まれに患者さんがお亡くなりになったケース等で、再度の請求を行ってもご家族から負担金をお支払いいただけないケースがあります。」と説明されています。しかしながら、患者負担金の減免制度がなかったころには、確かに患者負担金の未収が長年累積し、最終的に損金として償却せざるを得ない場合もあったと承知しておりますが、減免対象になる患者さんへ適切な案内が出来るようになってからはそのようなケースは稀であると聞いております。

私たちがいたしましては、連帯保証人をお願いできる近親者もしくは関係者がいない患者さんが、患者登録を諦め、結果として造血細胞移植を選択できずに積極的治療そのものを断念するようないかなる事態が生じることには、患者負担金の未収が長年累積し、最終的に損金として償却せざるを得ない場合もあったと承知しておりますが、減免対象になる患者さんへ適切な案内が出来るようになってからはそのようなケースは稀であると聞いております。

以上、この点に鑑み患者負担金の支払いに関する連帯保証人について、下記の通り要望いたします。

記

- 骨髄バンクは、血縁者にドナーが見つからない患者に骨髄移植の機会を提供するシステムです。その骨髄バンクが患者登録時に連帯保証人を要求することで、連帯保証人を確保できない患者に患者登録を断念させ、患者から骨髄移植の機会を奪うことにならないよう、骨髄バンク事業を主導する厚生労働省が骨髄移植推進財団を適切に指導してください。

新年度理事会体制決まる

2011~2012年度の役員体制および理事会体制が決まり、7月の理事会より新たなスタートを切りました。患者支援事業のさらなる取り組み、加盟団体数の減少への対応、全国協議会のあり方検討など、様々なテーマについて、新体制で力を合わせて取り組んでまいります。ご支援ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

◆川瀬和子理事(重任)

重任理事の川瀬です。ここ数年個人的な理由で協議会に積極的に参加できず、申し訳なく思っております。今年度新しい会長をお迎えし、新理事会もスタートしましたことで、自分の協議会での役割をもう一度再確認しなければと思っております。患者さん・ドナーさんの支援をするという協議会のあり方について自分がどう関わっていくのか。加盟団体との関係も含め、風通しの良い協議会を目指すために何をしたいかなくてはならないか。私自身は微力ではありますが、自分なりの目標を定め、それに向けて努力していこうと思っておりますので、引き続き2年間よろしくお願いいたします。

- 会長 市川團十郎
- 副会長 上江洲富夫、斎藤江美子、島山茂房、野村正満、山下晋司
- 理事長 中野勝博
- 副理事長 川瀬和子、三田村真、村上忠雄、四方田淳
- 事務局長 菅早苗
- 理事 荒井善正、大田耕一郎、小川真理、加藤弦、木村純子、後藤菜都美、品川保弘、柴谷春子、東恩納美恵子、野平晋作、森脇豊、山村詔一郎
- 監事 伊戸川啓三、田中幸一、若木換

東日本大震災 被災患者支援基金

6月21日~7月20日(合計3,035,764円)

神奈川骨髄移植を考える会 厚木支部

高橋 真知子	現金 500,000円
小野 信人	現金 10,000円
赤沼 正清	現金 20,000円
兼坂 美登里	現金 10,000円
伊奈川 隼人	現金 10,000円
匿名	現金 2,000円
匿名	現金 10,000円
匿名	現金 1,000円
匿名	現金 (敬称略)
給付件数 3件	合計 724,000円

基金積み増しにご協力ください

●郵便振替(通信欄に震災支援と記載)
特定非営利活動法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会 00150-4-15754

●銀行の場合
特定非営利活動法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会
ゆうちょ銀行 008店 普通 4799951



10月23日、「2011 グリーンポリ」が開催されます。このイベントは、臓器移植経験者や障がい者の方と一般のランナーが共に走り、お互いの交流を深めながら、命や健康の大切さを知ろうというイベントです。全国協議会でも、3年前からこのイベントに参加しており、骨髄バンクのタスキやノボリをつけて走る事によって、骨髄バンクのPRに努めています!!

今年も秋空の下、国立競技場を走ろう! ランナー&応援ボラ 募集中

第104回 理事会報告

7月17日 全国協議会事務局

- 協議事項
- 名義後援、承認案件
- 役割分担について
- 「患者負担金の支払いに関する連帯保証人について」の質問書・要望書提出後の対応について
- 規程の見直しについて
- 石巻・いのちの輝き展への支援について
- 改革のための検討会設置について
- 事務局移転について
- 東日本大震災被災患者支援基金規程の一部見直しについて
- 高額療養費制度改革にむけた対応について
- 議事録の形式について

〈報告事項〉

- 財団関連
- 共催事業について
- 東日本大震災被災患者支援基金 受付・給付状況
- 白血病フリーダイヤル受付状況
- 「佐藤さち子患者支援基金」受付・給付状況
- ドナーサポートダイヤル受付状況

〈今後の予定〉
2011年9月18日 第105回 理事会

骨髄第23-212号 平成23年7月7日

特定非営利活動法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会 理事長 中野勝博 様

財団法人 骨髄移植推進財団 理事長 正岡 徹

「患者負担金の支払いに関する保証人」について (回答)

謹啓 貴協議会におかれましては、ますますご清祥の段、お喜び申し上げます。平素より骨髄バンク事業の推進にご支援賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、標記について貴職よりご質問を文書で拝受し、貴協議会事務局に質問の趣旨をメールで確認させていただきましたので、下記のとおり、ご回答いたします。

なお、連帯保証人の件につきましては、詳細について現在検討中であるため、実施時期を延期しております。

謹白

記

質問 1. 現在までに患者負担金が未収になっている件数と金額はどれほどでしょうか。また、直近の3年間で患者負担金請求総額に対して未収金となっている割合を示してください。

<補足> 貴事務局からのメールの抜粋

○未収金については、償却した分を含めた金額と、含めない金額の両方を教えていただきたい。

○償却した分については、請求が発生した年月と、それが償却された年月、金額の情報を含め件数と、合計金額を合わせて教えていただきたい。

回答 患者負担金については、①患者HLA確認検査、②ドナーの確認検査、③最終同意の段階で、手数料、検査料、団体傷害保険料を患者さんに請求しています。期日までに入金されていない分が未収金として計上されますが、再請求により1ヶ月以内には概ね回収されています。

しかしながら、一部の患者さんの未収金については、財団からの再三の請求、後の数回にわたる督促、簡易裁判所からの支払督促を行っても支払っていただけず、最終的に償却せざるを得ないのが実態です。

当財団としては、経済的な理由で骨髄移植を受けられない患者さんを出さないように、所得状況に応じた減免措置を行っています。全額免除対象者を除く患者さんに患者負担金を支払っていただいているにもかかわらず、一部の患者さんには残念ながら支払っていただけないことから、公平性の観点からは正措置が必要と見做しております。

骨髄バンクとしての公平性を担保するためにも、やむを得ずこのような手段をとることを、ご理解いただけますようお願い申し上げます。

直近の決算期である平成23年3月末の患者負担金にかかる未収金については、40,250千円、未収金の件数は1094件です。

直近3年間の患者負担金請求総額、年度末の患者負担金にかかる未収金、年間償却額は次の通りです。償却額に関する請求年月等につきましては、別紙をご参照ください。

(単位:千円)

年度	患者負担金請求総額	年度末の未収金の残額(患者負担金請求総額に対する割合)	年間償却額
平成20年	380,536	75,145 (19.7%)	6,965
〃 21年	367,583	50,486 (13.7%)	18,378
〃 22年	324,864	40,250 (12.4%)	2,100

質問 2. 貴財団として、7月以降は連帯保証人を立てられない患者からの患者登録は、一切受け付けなくなるのでしょうか。その場合、連帯保証人がいない患者の救済についてはどのようにお考えでしょうか。

回答 連帯保証人の件につきましては、詳細について現在検討中であるため、実施時期を延期しております。

なお、本件は、患者への費用請求に係る手続きの一環として行うもので、これまで同様医療機関における移植の手続きとは別途のものです。

従いまして、患者さんの登録の機会を妨げたり、移植の機会を妨げたりする要因にはならないことをご理解いただきたいと思います。

入院時の連帯保証人がおられないなど特別な事情がある方には、所得状況に応じた患者負担金の減免救済措置の活用も含めて、患者相談窓口等で個別に相談させていただきたいと考えております。

心からのご寄付に 感謝申し上げます

6月21日～7月20日

榎タクトコーポレーション	現金	10,000円
エグゼキューブ(株)	現金	1,050円
長谷川 緑	現金	5,000円
行方 ゆかり	現金	10,000円
塩谷 泰人	現金	1,000円
加藤 久美子	現金	3,000円
櫻井 康司	現金	30,000円
飯原 卓也	現金	1,000円
飯島 孝枝	現金	2,240円
鈴木 純子	現金	1,340円
匿名	現金	800円
匿名	現金	5,000円
●白血病患者支援基金		
やきとりおばこ	現金	26,600円
ホームセンターコーナン市川原木店	現金	23,391円
小野塚 照直	現金	5,000円
●佐藤さち子患者支援基金		
MRIインターナショナル,INC.	現金	18,000円
樋口 勇一	現金	5,000円
飯原 卓也	現金	1,000円
		(敬称略)

活動資金の援助をお願いします

銀行口座

三井住友銀行 新宿通支店
普通 5666655
郵便振替口座
00150-4-15754
特定非営利活動法人
全国骨髄バンク推進連絡協議会



新潟県加茂市
患者家族会立ち上げ
記念イベント開催

6月26日、加茂文化会館大ホールで骨髄バンク命のアサガオ血液疾患患者家族の為に「Asago患者家族会」を立ち上げるにあたり、全国協議会との共催で記念イベントを行いました。当日は大雨が降りどうなるかと思いましたが、350人以上の方にきて頂きました。

午前中に第一回「Asago患者家族会」を開き、午後から記念イベントを行いました。式典では先日全国初のドナー助成金制度を取り入れて下さった小池清彦加茂市長様へ骨髄移植推進財団から感謝状を贈呈して頂きました。第二部のチャリティーイベントでは、中学校吹奏楽部やバンドの演奏、大道芸などを行い、ロビーではパネル展、ドナー登録説明会などを行いました。市民の皆様へ骨髄バ



最後に司会を務めた小笠原佳子さん作詞、久保すみれさん作曲の「だいたいぶぶぶ...」ありがとう」が患者会をまるまるメンバーにより初披露されました。柔らかな詞とメロディー、優しい歌声には、苦しかった闘病生活を経て、いま元気に楽しく活動するメンバーの思いが込められていました。

会場に足を運んで下さった

7月9日、青森市アウガ5階AV多機能ホールにて、骨髄バンク20周年記念・第10回市民公開講座「骨髄移植を知ろう」が開催されました。

今回のテーマは「いのちを考える」です。第一部は、骨髄バンクの流れを演劇を取り入れ解りやすく説明しました。見事な熱演ぶりに是非次回もとの声がたくさんありました。

第二部は、映画「いのちを守る勇気」と「マザーテレサからのメッセージ」と題し、日本映画学校副校長の千葉茂樹監督の講演、ピアニスト菅野美奈さんによるマザーテレサに捧げるメロデーが会場に響きわたりました。

この映画は松井監督が7年もの歳月をかけて完成させたもので、「ユキエ」「折れ梅」に次ぐ3本目の作品です。

この日の入場者は、818名

7月16日、姫路地区骨髄バンク推進センターは、骨髄バンク20周年を記念して、骨髄移植推進財団・全国骨髄バンク推進連絡協議会の共催事業として、兵庫県映画センターのご協力のもと、松井久子監督をお迎えし「レオニー」の上映会を行うことができました。

この映画は松井監督が7年もの歳月をかけて完成させたもので、「ユキエ」「折れ梅」に次ぐ3本目の作品です。

6月25日奈良県大和郡山市のイオンモールで「骨髄バンク単独登録会」を行いました。

バーゲン初日でも多くのお客様が詰め掛ける中、ボランティア14名がキティーティッシュ・リーフレットを配布しました。

奈良県との共催でしたので、奈良のユルキャラ「せんとくん」も登場。骨髄バンクPRに二役買ってくれました。

今月の 共催イベント

7月9日、青森市アウガ5階AV多機能ホールにて、骨髄バンク20周年記念・第10回市民公開講座「骨髄移植を知ろう」が開催されました。

今回のテーマは「いのちを考える」です。第一部は、骨髄バンクの流れを演劇を取り入れ解りやすく説明しました。見事な熱演ぶりに是非次回もとの声がたくさんありました。

7月16日、姫路地区骨髄バンク推進センターは、骨髄バンク20周年を記念して、骨髄移植推進財団・全国骨髄バンク推進連絡協議会の共催事業として、兵庫県映画センターのご協力のもと、松井久子監督をお迎えし「レオニー」の上映会を行うことができました。

150名の方が、今を生きるこの意味と、受け継がれる命の尊さを改めて感じとった内容だったと思います。(成田)

6月25日奈良県大和郡山市のイオンモールで「骨髄バンク単独登録会」を行いました。

バーゲン初日でも多くのお客様が詰め掛ける中、ボランティア14名がキティーティッシュ・リーフレットを配布しました。



入場者の方には「チャンス」献血の冊子などを配布したほか、ロビーでは手作りバザーを開催し、パン・アーモンドバターなどの販売も行いました。

姫路地区骨髄バンクは、来年20周年を迎えます。これからも初心を忘れず、普及啓発活動に力をいれていきたいと思っております。(濱田)



先日、新発田市の敬和学園大学に講演会を行った足で、菊水酒造さんにもお邪魔しました。目的はもちろんお酒・・・じゃ無くて2009年に移植1万例を記念して植樹された桜を見に行く為です。

1万例と言えども僕もちょうどその頃に骨髄バンクを介して移植を受けました。この桜はこれまで協力して下さったすべての方々に感謝し、1人でも多くの患者さんの社会復帰を祈りつつ、移植の機会を待っている患者さんへの応援メッセージを発信する事が目的だったそうです。

その皆さんの祈りが通じて僕は元気に社会復帰して、この桜に逢いに行く事が出来ました。菊水酒造に到着すると高澤社長が迎えに来てくださり、桜を案内しながら「実は植樹していたんだいた桜のうち一本の陽当りがあまり良くなく成長が遅れて居たので心配で陽当りが良い所に勝手に移植させていたんだ」とのこと。確かに一本だけ成長は遅れていましたが、しっかりと添え木に支えられ元気なすくすくと成長していました。

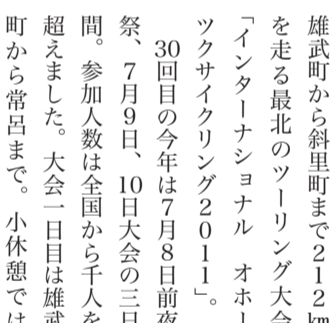
その姿を見てボランティアに支えられ、ドナーさんにチャント行く患者の姿が重なりました。次は高澤社長がおっしゃっていた「花をつけたら花見で一杯やりましょう」を実現出来たらと思います。(千葉の会 荒井善正)

北海道、オホーツク海沿いの雄武町から斜里町まで212kmを走る最北のツーリング大会「インターナショナル オホーツクサイクリング2011」。

30回目の今年は7月8日前夜祭、7月9日、10日大会の三日間。参加人数は全国から千人を超えました。大会一日目は雄武町から常呂まで。小休憩ではチーズ、アイスクリーム等が用意され、昼食を取り一日目のゴール常呂町を目指します。

小さな町を通過するたびに沢山の声援を受け、オホーツク海沿いの雄大な景色を眺めながらの走行は、とても気持ちが良いものです。大会2日目は常呂町から斜里町まで。バンクの黄色いたすきは目立ち、参加者に登録の仕方など聞かれることもしばしばあります。

全国のみならず来年一緒にオホーツクの風になりませんか？(札幌/さのつち)



「せんとくん」も骨髄バンクをPR

6月25日奈良県大和郡山市のイオンモールで「骨髄バンク単独登録会」を行いました。

バーゲン初日でも多くのお客様が詰め掛ける中、ボランティア14名がキティーティッシュ・リーフレットを配布しました。

奈良県との共催でしたので、奈良のユルキャラ「せんとくん」も登場。骨髄バンクPRに二役買ってくれました。

先日、新発田市の敬和学園大学に講演会を行った足で、菊水酒造さんにもお邪魔しました。目的はもちろんお酒・・・じゃ無くて2009年に移植1万例を記念して植樹された桜を見に行く為です。

1万例と言えども僕もちょうどその頃に骨髄バンクを介して移植を受けました。この桜はこれまで協力して下さったすべての方々に感謝し、1人でも多くの患者さんの社会復帰を祈りつつ、移植の機会を待っている患者さんへの応援メッセージを発信する事が目的だったそうです。

その皆さんの祈りが通じて僕は元気に社会復帰して、この桜に逢いに行く事が出来ました。菊水酒造に到着すると高澤社長が迎えに来てくださり、桜を案内しながら「実は植樹していたんだいた桜のうち一本の陽当りがあまり良くなく成長が遅れて居たので心配で陽当りが良い所に勝手に移植させていたんだ」とのこと。確かに一本だけ成長は遅れていましたが、しっかりと添え木に支えられ元気なすくすくと成長していました。

その姿を見てボランティアに支えられ、ドナーさんにチャント行く患者の姿が重なりました。次は高澤社長がおっしゃっていた「花をつけたら花見で一杯やりましょう」を実現出来たらと思います。(千葉の会 荒井善正)

各地のたよりを
写真を添えて
お寄せください。

大地の風に黄色い
タスキをなびかせて

北海道、オホーツク海沿いの雄武町から斜里町まで212kmを走る最北のツーリング大会「インターナショナル オホーツクサイクリング2011」。

30回目の今年は7月8日前夜祭、7月9日、10日大会の三日間。参加人数は全国から千人を超えました。大会一日目は雄武町から常呂まで。小休憩ではチーズ、アイスクリーム等が用意され、昼食を取り一日目のゴール常呂町を目指します。

小さな町を通過するたびに沢山の声援を受け、オホーツク海沿いの雄大な景色を眺めながらの走行は、とても気持ちが良いものです。大会2日目は常呂町から斜里町まで。バンクの黄色いたすきは目立ち、参加者に登録の仕方など聞かれることもしばしばあります。

全国のみならず来年一緒にオホーツクの風になりませんか？(札幌/さのつち)

先日、新発田市の敬和学園大学に講演会を行った足で、菊水酒造さんにもお邪魔しました。目的はもちろんお酒・・・じゃ無くて2009年に移植1万例を記念して植樹された桜を見に行く為です。

1万例と言えども僕もちょうどその頃に骨髄バンクを介して移植を受けました。この桜はこれまで協力して下さったすべての方々に感謝し、1人でも多くの患者さんの社会復帰を祈りつつ、移植の機会を待っている患者さんへの応援メッセージを発信する事が目的だったそうです。

その皆さんの祈りが通じて僕は元気に社会復帰して、この桜に逢いに行く事が出来ました。菊水酒造に到着すると高澤社長が迎えに来てくださり、桜を案内しながら「実は植樹していたんだいた桜のうち一本の陽当りがあまり良くなく成長が遅れて居たので心配で陽当りが良い所に勝手に移植させていたんだ」とのこと。確かに一本だけ成長は遅れていましたが、しっかりと添え木に支えられ元気なすくすくと成長していました。

その姿を見てボランティアに支えられ、ドナーさんにチャント行く患者の姿が重なりました。次は高澤社長がおっしゃっていた「花をつけたら花見で一杯やりましょう」を実現出来たらと思います。(千葉の会 荒井善正)

骨髄バンクの最新情報をお知らせする

●第41回通常理事会・評議員会の開催について
6月29日(水)、第41回通常理事会・評議員会が開催されました。

(1) 平成22年度事業報告・決算報告・患者負担金等支援基金審査結果等について審議の結果、原案どおり承認されました。

平成22年度非血縁者間骨髄移植は1,192件(内1件は末梢血幹細胞移植)で、前年度に比べ40件減少する結果となりました。

また、平成22年10月から非血縁者間末梢血幹細胞移植(PBSCT)に関するコーディネートを一部対象者を限定して開始、3月末時点でのPBSCT採取・移植認定施設は20施設となり、3月には国内初の非血縁者間PBSCTが実施されました。

なお、平成22年度の決算では、移植件数の減少等により収支では3,624万円の赤字決算となりました。

(2) 平成23年度に特例民法法人から公益財団法人に移行申請手続きを行う予定ですが、公益財団法人の認定に必要な「定款の変更(案)」を審議した結果、正岡理事長を最初の代表理事とする事務局案が承認されました。また、評議員選定委員会において選任された新法人における最初の評議員11名について報告を行いました。

※事業報告、決算報告、補正予算、患者負担金等の詳細につきましては、財団ホームページをご参照下さい。
http://www.jmdp.or.jp/about_us/overview/corporation.html

●読売巨人軍「骨髄バンクシリーズ」
7月1日～3日、東京ドームの巨人対中日3連戦が「骨髄バンクシリーズ」として開催されました。3日間にわたって入場者にリーフレットが配布さ

れたほか、2日と3日には22番ゲート前広場の特設ステージで「助かる命を助けよう！」をスローガンに骨髄バンク支援イベントが行われ、移植経験者の荒井善正さん、細矢浩伸さん、提供経験者の黄木奈々絵さんが自身の経験を語り、ドナー登録を呼びかけました。特設ステージ横に設置されたテントではドナー登録説明会が開かれ、ステージのイベントを見た方たち等がドナー登録の説明を聞きにいらしゃいました。

●NHKテレビ「欽ちゃんのワースト脱出大作戦」
「欽ちゃんのワースト脱出大作戦」は、様々なランキングで最下位の地域の住民にNHKが協力し、ワーストからの脱出を目指す番組です。

8月19日(金) 19:30～20:45の放送では、「対象人口千人あたりのドナー登録者数」が全国最下位になってしまった群馬県がとりあげられます。県内のボランティアさんがメールを出したことから、NHKの取材とドナー登録を増やす取組みが始まり、献血併行型ドナー登録会も再開されるようになりました。ドナー登録を増やすためには、多くの方の協力が必要です。ボランティアさんや自治体、日本赤十字社の方々など、一人でもドナー登録者を増やそうと頑張っている関係者の皆さんの姿が放送されます。

●骨髄移植がテーマの舞台が今年も再演
●骨髄移植推進財団設立20周年キャンペーン「友情～秋桜のパラード～」
白血病の転校生と同級生たちとの友情を描いた舞台「友情～秋桜のパラード～」が幕を開けます。今年は骨髄移植推進財団20周年キャンペーンとしての開催です。

◇2011年8月24日(水)～28日(日) 三越劇場(日本橋三越本店本館6階)

骨髄バンク NOW

◇2011年9月1日(木)～7日(水) 渋谷区文化総合センター大和田 伝承ホール
【お問合せ】劇団絵生(えき): TEL 03-5427-1822、ディスクガレージ: TEL 03-5436-9600

■「IMAGINE9.11」
同時多発テロが発生したアメリカと日本を舞台に、骨髄液を空輸するために力を尽くした人達を描いた舞台です。

◇2011年9月9日(金)～11日(日) 銀座 博品館劇場
【お問合せ】IMAGINE9.11制作実行委員会: TEL 03-5327-3353

■6月の区分別ドナー登録者数: 献血ルーム / 1,130人、献血併行型集団登録会 / 1,794人、集団登録会 / 21人、その他 / 74人

◆日本骨髄バンクの現状(平成23年6月末現在)

	5月	6月	現在数	累計数
ドナー登録者数	2,756	3,019	385,349	503,783
患者登録者数	210	263	2,776	33,226
骨髄移植例数	104	97	-	13,072
20歳未満ドナー登録者	-	260	15,177* 1</td <td>-</td>	-
51歳以上ドナー	189**	102**	23,179**	-

注) 数値は速報値のため次月以降に訂正されることがあります。
*1) 17年3月～ *2) 51歳以上ドナーの延長数 *3) 51歳以上ドナーの新規登録数 *4) 17年9月～